

CLAIR トピックス

——最近のクレアの動きや所管国の状況等を短くまとめて紹介します



北京事務所

武漢市で JET プログラム説明会・JET 経験者意見交換会を開催

3月20日、湖北省武漢市の武漢大学にて、在中国日本大使館との共催により、日本語学科の大学生・大学院生を対象とした JET プログラム説明会を実施しました。説明会では、クレア北京事務所長による開会挨拶のあと、在中国日本大使館一等書記官による同プログラムの概要説明のほか、JET 経験者による経験談の発表やクレア北京事務所職員による自治体紹介が行われました。同プログラムに関する学生向けの説明会の開催は中国国内では初めての試みとなりますが、武漢市内の各大学から約 80 人の学生の参加がありました。説明会では参加者からさまざまな質問が寄せられ、同プログラムへの関心の高さが伺えました。

また、同日の夜には、湖北省内から派遣された JET 経験者および着任を控えた現役 JET など、合計 7 名の JET 参加者との意見交換会を開催しました。JET 経験者間の交流・連携をテーマに意見交換が行われ、新型コロナウイルスで日本との往来が制限されている中、日中がどのように交流を深めていくことができるかといった点などが議論されました。参加者の多くは大学教授などであったため、大学生の日本に対する関心の動向についても意見を聞く貴重な機会となりました。

クレア北京事務所では、今後も中国各地における JET プログラム事業の周知および JET 経験者とのネットワーク強化のための取り組みを実施してまいります。



JET 経験者による経験談発表の様子



JET 経験者意見交換会での集合写真



シドニー事務所

クレアフォーラム 2020/2021 開催

3月9日、クレアシドニー事務所は、シドニーで「クレアフォーラム 2020/2021」をシドニー工科大学公共政策研究所兼地方自治体センターと共催しました。

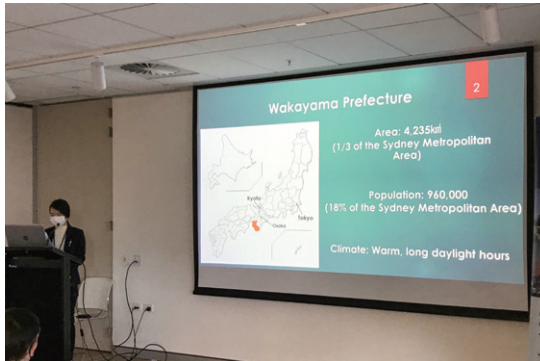
クレアフォーラムは、日本、オーストラリア、そしてニュージーランドの地方自治体が直面する政策課題などをテーマに掲げ、クレアシドニー事務所職員、シドニー工科大学公共政策研究所兼地方自治体センター職員、そして当地の地方自治体関係者などがそれぞれ調査研究成果を発表し、意見交換などを行う調査報告・交流イベントです。

今回のクレアフォーラムは、「地方自治体の産業振興政策」をテーマとし、クレアシドニー事務所職員 4 人を含み 6 人がプレゼンテーションを行い、参加者は日本とオーストラリアの地方自治体の産業振興政策について有益な知見をえることができました。さらに、質疑応答を通じて、有意義な意見交換を行うことができました。

また、新型コロナウイルス感染症によるパンデミックの中、入場者数を制限し、マスクを着用していただきながらの開催となりましたが、

参加者からは実地で開催されるイベントへの久々の参加を喜ぶ声が聞かれました。

クレアシドニー事務所は、引き続き当地の地方自治体や大学などと知見や情報の共有を進め、相互に有益な活動に取り組んでまいります。



日本の地方自治体の産業振興政策を紹介



クレアフォーラム 2020/2021 の参加者集合写真



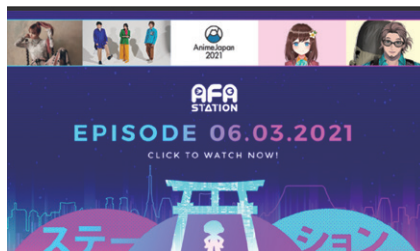
シンガポール事務所

「アニメや漫画の聖地を活用した自治体の観光 PR 動画」を配信！

クレアシンガポール事務所では、「アニメや漫画の聖地を活用した自治体の観光 PR 動画」を作成し、2021 年 3 月 6 日に、AFA (Anime Festival Asia) のオンラインプラットフォームにおいて放送しました。内容は、群馬県・鹿児島県・埼玉県秩父市・栃木県小山市・新潟県新潟市が持つ、アニメや漫画の聖地に関する動画や画像を組み合わせた約 25 分の動画です。新海誠監督の映画「秒速 5 センチメートル」、シンガポールも舞台となっているアニメ「宇宙よりも遠い場所」などの聖地について、クイズ形式や「上越新幹線沿い聖地ツアー」といった内容で紹介しています。さらに、バーチャル YouTuber (VTuber) と MC にも参加してもらうことで、番組を盛り上げました。視聴者からは、チャット機能を使用し、「ここに行ってみたい!」といった反応がリアルタイムで届きました。今後も、アニメや漫画を切り口としたインバウンド促進に取り組んでまいります。

この動画は、AFA の YouTube チャンネルにおいて、下記リンク先から視聴できます。

<https://www.youtube.com/watch?v=54d7reC9JxQ>



AFA Station TV オープニングの様子



バーチャル YouTuber と MC によるアニメ聖地の紹介



パリ事務所

仏イッシー・レ・ムリノー市長に交流 10 周年・オリンピックを契機とする 交流発展に向けた市川市長親書を手交

4 月 28 日、パリの南西部に接し、千葉県市川市のパートナーシティであるイッシー・レ・ムリノー市を伊原駐仏日本大使が訪問する機会に、クレアパリ事務所も同行し、アンドレ・サンティニ市長との会談や日本庭園など両市の交流関係施設視察を行いました。

会談では、市川市から派遣のパリ事務所職員が、村越市川市長から預かった親書をサンティニ市長にお渡しし、コロナ禍における両市の平和と健康を願うとともに、2022 年の交流 10 周年や 2024 年のパリ五輪に向けた交流、コロナ禍での新たな交流形態など、さらなる関係強化について意見交換しました。

その後、両市の技術者が協力して作庭した日本庭園「市川庭園」を訪れ、造形美や景観を鑑賞したほか、文化施設「Le Temps des Cerises」では、VR によるスマートシティの取り組み体験や 200 種類を超える日本のマンガ蔵書を誇るマンガ図書室「La Mangathèque」を視察しました。両市の関係の深さや日本文化の存在感を実感させられました。

イッシー・レ・ムリノー市と市川市とは 2009 年に交流をスタートさせ、2012 年 10 月にパートナーシティ協定を締結し、文化、青少年及び市民交流などに取り組んできました。今回の訪問はコロナ禍でありながらも両市が友好交流発展の方向性を共有する良い機会となりました。



市川市長から預かった親書をイッシー・レ・ムリノー市長（中央）にお渡しするクレアパリ事務所職員（左）



市川庭園内の様子



ソウル事務所

宮崎県産材の輸出拡大に向け展示会「KOREA BUILD」に出展！

3 月 18 日から 21 日までの 4 日間、韓国最大級の建築・インテリアなどの専門展示会「KOREA BUILD」に、宮崎県が出展しました。

会期中は、宮崎県の県産材の輸出拡大を図るため、日本の伝統的な木造建築方法である木造軸組工法サンプルを会場内に実際に組み立てて設置し、来場した住宅建築関係者などへ、木造軸組工法の特徴や施工事例を写真で紹介しました。

来場者は実際に展示物に触れ、強度、耐久性、木目を確認しながら施工方法について質問するなど、日本の木造建築への関心の高さがうかがえました。

また、今回は新型コロナウイルスの影響により、宮崎県関係者が韓国への渡航ができなかったことから、クレアソウル事務所と宮崎県がオンライン会議で連絡をとりながら韓国の関係機関と準備を進め、当日のブースの運営も支援しました。

宮崎県では、今後も材料（県産材）と建築技術をパッケージにした「材工一体」の取り組みを推進する予定で、クレアソウル事務所でも引き続き活動を支援してまいります。



「木造軸組工法」による宮崎県ブース



施工方法（プレカット加工）について説明



ニューヨーク事務所

急速に進むワクチン接種

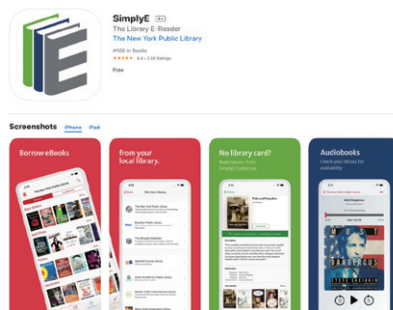
ニューヨーク州では、新型コロナウイルスワクチン接種の対象が4月6日から16歳以上に拡大されました。接種の予約は対象者が自らオンラインで行いますが、3月末現在では需要が供給を上回っており予約するのにも苦労です。予約可能な場所を一括して表示するウェブサイトの構築や、高齢者などオンラインでの予約が難しい方のための支援など、ボランティアの活動も広がりを見せています。詳しくは下記2つのURLをご覧ください。
<https://www.jlhc.org/ja/04-02-2021/9451/>
<https://www.jlhc.org/ja/04-05-2021/9477/>



ワクチン接種の証明書

コロナ禍でニューヨーカーの読書を支える SimplyE

ニューヨーク公共図書館は2016年、SimplyEという電子書籍の貸出や閲覧ができるアプリケーションを開発しました。ニューヨーク公共図書館のほか、SimplyEを利用するアメリカ国内の図書館が所蔵する電子書籍やオーディオブックなど、30万冊以上のコレクションを提供しています。新型コロナウイルスの影響により図書館は依然閉鎖されており、SimplyEを利用するために電子図書館カード登録数が864%増加しました。詳しくは下記URLをご覧ください。
<https://www.jlhc.org/ja/02-10-2021/9193/>



モバイルアプリ「SimplyE」



ロンドン事務所

自治体からの派遣職員によるレポートを毎月更新中！

クエアロンドン事務所ウェブサイトでは、自治体からの派遣職員（Assistant Director）が、毎月英国を中心とするクエアロンドン事務所所管国の「今」についてお届けする「ADレポート」を執筆、掲載しています。

新型コロナウイルスの影響で日英の行き来ができない中、英国などの状況や今ホットな情報を日本の自治体関係者へお届けしたいと、2020年11月から掲載を始めました。

内容は、新型コロナウイルスのワクチン接種体験記、ロックダウンによる学校閉鎖下の学習の様子といったロンドンでの実体験を記事にしたものや、テレビ番組で話題となっていた特別支援学校について調べた記事、英国の移民の歴史についてまとめたものなど、多岐にわたるテーマ、視点からお届けしています。

今後もロンドン在住の自治体職員だからこそ気づいたさまざまな出来事について掲載していきますので、ぜひご覧ください。

- ・英国、ドイツで東日本大震災追悼イベントを開催
- ・コロナ禍の子宮頸がん検診の取り組み～受診率が低い原因を検査キットを使ったセルフチェックで解決～
- ・英国の階級社会
- ・英国の地方議会選挙
- ・金融大国・英国の金融経済教育について
- ・英国が抱える社会問題「孤独」
- ・ロンドン・ウォルサムフォレスト区のナショナルツリーウィーク
- ・メンタルヘルスに対する公的取り組み
- ・チャリティ活動への意識が芽生えるクリスマスカード
- ・ロンドン愛用のシェアサイクル2社

ADレポートのウェブページ

https://www.jlhc.org.uk/jp/research/ad_report/



JET プログラム事業部

自治体の国際化に『JET プログラム参加者』を活用しませんか？

JET プログラムは主に海外の青年を招致し、地方自治体や学校などで国際交流の業務や外国語教育に携わることににより、地域レベルでの国際化を推進することを目的としている事業です。

JET プログラムには、ALT（外国語指導助手）、CIR（国際交流員）、SEA（スポーツ国際交流員）の3つの職種があり、その多くがALTとして活躍しています。

「ALT」は、学校教育において外国語授業の指導助手として活動しています。外国語や出身国の文化学習を通して、児童生徒の外国への興味・関心を高めることができます。

「CIR」は、高い日本語能力を有しており、任用団体の観光インバウンド戦略や多文化共生に係る取り組みなどのサポーターとして多方面で活躍しています。

「SEA」は、母国において特定のスポーツ指導で特に優秀と認められている者として推薦されており、スポーツ関係の指導を通して国際交流活動を行っています。

自治体の国際化に向けた情報発信や課題解決、自治体の未来を担う子どもたちの高い国際感覚の定着にJET プログラム参加者の活用を検討してみませんか？



宮崎県五ヶ瀬町
ハロウィンについての学習を行うALT



新潟県
小学校で料理教室を行うCIR

交流親善課

オンライン交流セミナーを開催します

コロナ禍における国際交流の事例を共有し、新たな国際交流を推進することを目的として、オンラインを活用して行われた先進的な交流を紹介する「オンライン交流セミナー」を2021年7月14日（水）に開催します。

コロナ禍における自治体間交流の現状や課題、これまでに行った創意と工夫に富んだ取り組みについて、自治体から事例発表を行います。コロナ禍における新たな国際交流の方法を考える機会となれば幸いです。

セミナーの詳細や参加登録の方法などは、下記ホームページで順次お知らせしていきます。多くの自治体関係者の皆様のご参加をお待ちしております。

日 時：2021年7月14日（水）14:00～15:30（予定）

場 所：オンライン（Zoom を使ったウェビナー形式）

テーマ：オンラインを活用して行われた国際交流事業について

オンライン交流セミナーHP：http://www.clair.or.jp/j/exchange/shien/online_seminar.html

多文化共生課

多文化共生の担い手連携促進事業（助成金）の申込を受付中です！！

地域における持続的かつ効果的な多文化共生の取り組みを推進するために、担い手連携や災害時の外国人支援体制強化の取り組みなど、多文化共生関係者や関係機関同士の広域的な連携・協働に向けた取り組みを支援します。

支援対象団体：①各地区の地域国際化協会連絡協議会（ブロック協議会）

②地域国際化協会

③市区町村国際交流協会（協会が存在しない場合は市区町村）等

対象となる取り組み：各地区のブロック協議会または、複数（2以上）の助成対象団体が主体となって行う取り組みで、広域的な担い手の連携または災害時の外国人支援体制強化を目指して行う次の取り組みを対象とする。

①担い手の広域的な連携を促進することを目的として実施する研修会、ワークショップ、意見交換会等

②災害時多言語支援センターの設置・運営訓練、災害時における外国人支援対応状況の振り返り会等

③そのほか、広域的な担い手の連携または災害時の外国人支援体制強化に資すると認められる取り組み

支援内容：①連携・協働に係るアドバイザー・有識者の派遣

②広域的な連携・協働に向けた取り組みに対する助成金（上限額：10万円）

※詳しくはHPをご覧ください。

http://www.clair.or.jp/j/multiculture/kokusai/ninaite_jyousei.html

【お問い合わせ】多文化共生課 Tel：03-5213-1725 Mail：tabunka@clair.or.jp



事業イメージ

経済交流課

プロモーションアドバイザーが増えました！

クレアでは、自治体の海外プロモーションを支援するため、専門的知見、ノウハウ、経験をもつ専門家（プロモーションアドバイザー）を派遣し、相談対応や専門的な助言・情報提供などを行うプロモーションアドバイザー事業を実施しています。

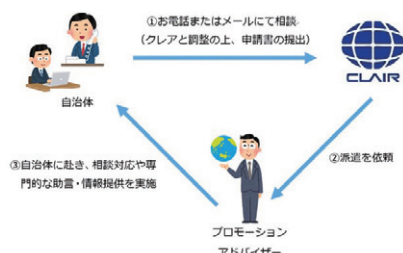
2021年度は、新たに1社（Trip.comグループ 日本）が加わり、登録アドバイザー数が32名（社）となりました。オンラインでの派遣も可能です。

本事業についてはHPをご覧ください。

<http://economy.clair.or.jp/activity/dispatch/>

【お問い合わせ】

経済交流課 Tel：03-5213-1726 Mail：keishin@clair.or.jp



申請から派遣までの流れ

市民国際プラザ

自治体、NGO/NPOなどとの連携相談や、国際協力、多文化共生に関する情報を発信しています

市民国際プラザには、(特活) 国際協力 NGO センター (JANIC) のコーディネーターが常駐し、地域における国際協力、多文化共生の推進を目的に、さまざまなセクターの連携支援、先進事例の発信などを行っています。お気軽にご連絡ください！

■ご相談受付 ※メール、Zoom、お電話でも対応いたします

・自治体と NGO/NPO などの連携について

・先進事例のご照会

・広報のご相談（メルマガ、SNS などへの情報掲載）など

■リニューアルしたウェブサイト・情報掲示板をご活用ください

<http://www.plaza-clair.jp/>

<https://theshare.info/clairjanic/>

■主催セミナーの情報（国際協力、多文化共生）

<http://www.plaza-clair.jp/event/index.html>

■メールマガジン登録

<http://www.plaza-clair.jp/plaza/mailmagazine.html>

E-mail：international_cooperation@plaza-clair.jp



プラザ内観写真

市民国際プラザ

検索